

令和6年度 第5回 開成中学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和7年2月12日(水) 14時15分から16時20分まで
- 2 開催場所 開成中学校 2階 多目的室
- 3 出席委員 名波 弘充、吉田 葉津美、石川 夏紀、磯部 多秀、高林 正嗣、
杉山 幸生
- 4 欠席委員 若松 由希野
- 5 オブザーバー 鈴木 克隆(北部協働センター職員)
- 6 学 校 吉田 拓司(校長)、山守 達大(教頭)、山田 亘(主幹教諭)、
今田 彬(生徒指導主事)、松本 敬介(CS担当)、山崎 智子(CSディレクター)
- 7 教育委員会 牧野 知子(教育総務課)
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 山崎 智子
- 10 議長の選出

司会の山田主幹教諭から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、名波委員から石川委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1) 学校関係者評価について
- (2) いじめ防止基本方針についての評価
- (3) 来年度学校運営の基本方針について
- (4) 学校運営協議会の自己評価

12 会議記録

司会の山田主幹教諭から、委員総数7人のうち6人の出席があり過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校関係者評価について

議長の指示により、山田主幹教諭から、別紙資料に基づき学校関係者評価について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・ 職場体験がコロナ禍で中断していたため、今年度はそこに難しさがあったと思う。来年度は今年度よりもスムーズにいくのではないかと。(名波委員)
- ・ 職場体験については、コーディネーターがやるのか、コミュニティスクール全体でやるのかが不明確で困ったので、明確化してほしい。(杉山委員)
→ お願いすべきことを明確にして、早めをお願いをします。(吉田校長)
- ・ 保護者の学校評価の問14「学校は、正しい判断力を身につけるための指導を行っている。」の評価が前回より下がったのは、具体的に何かあったのか。(名波委員)
→ 保護者が子供との会話や参観会の様子などからそういう判断をしたと思われる。(山田主幹教諭)
- ・ 問14については今年度だけのことなのか。一般的にも2学期はなかだるみしやすい時期だと思う。(石川委員)

- たしかになかだるみはあると思う。行事やNCコンクール等を通して子供たちに明確な目標をもたせ、なるべくなかだるみしないようにさせている。(山田主幹教諭)
- ・問15「学校は、学級・学年活動、生徒会活動、縦割り活動、部活動などを通して、集団づくりができている」の「集団づくり」とは具体的にどういうことか。(杉山委員)
 - 3学年の縦のつながり、学年ごとの横のつながりといったことです。(山田主幹教諭)
 - ・問3「お子さんは、家庭で毎日1時間以上学習に取り組んでいる。(宿題や塾を含みます)」の肯定的な意見の低さに不安がある。(吉田校長)
 - 自分の子供が小学生だが、今小学校では自分たちでこの日は遊ぶ日、この日は勉強をする日というふうに決めて、勉強時間は週平均で何時間としている。質問の仕方を「毎日」ではなく「週平均で」に変えてもいいのではないか。(吉田委員)
 - 検討します。(山田主幹教諭)

(2) いじめ防止基本方針についての評価

議長の指示により、今田生徒指導主事から、別紙資料に基づきいじめ防止基本方針の評価についての説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・生徒のスマホ所持率はどのくらいか。(杉山委員)
- 中1で70%くらい、中3で90%くらいだと思う。(山守教頭)
- ・いじめに関して、どのSNSでのトラブルが多いのか。(吉田委員)
- LINE、インスタグラムが多い。(今田生徒指導主事)
- SNSの関係は自分たちには見えない。学校は追えない状況だ。学校としても保護者向けの講座開催が必要ではないかと考えるが、開催してもこちらが来てほしい保護者ほど来ないのが現状だ。(吉田校長)
- 保護者の空いている時間や好きな時間に見ることができるように、動画を配信してはどうか。中学の入学説明会で話すのもよいのではないか。(吉田委員)
- 入学説明会のときに話すとして、保護者はどれくらいの時間なら大丈夫か。(今田生徒指導主事)
- 説明会全体で1時間半程度なら大丈夫だと思う。(吉田委員)
- もしかしたら中学ではもう遅い。小学生のうちから必要かもしれない。(吉田校長)
- ・いじめの加害生徒への支援はあるのか。(石川委員)
- 学校から家庭に連絡をするが、それ以外はとくにない。(今田生徒指導主事)
- 加害生徒も満たされることがあって、それがいじめにつながることもある。被害生徒は支援されやすいが、加害生徒へも支援があるとよいのではないか。(石川委員)
- 加害生徒へのフォローアップについても考え、取り入れていきたい。(今田生徒指導主事)
- ・PTA主催で何か活動をしてよいと思う。(杉山委員)
- ・これだけのいじめ件数があることや学校側が一つ一つ対応していることなどの周知を保護者にしているのか。(吉田委員)
- 周知はしていないし、それはなかなかできない。いじめは解決しないと学校の責任になり、そこが難しい。(吉田校長)

→自分たちの時代は喧嘩もしたがそれが解決につながっていた。今より単純だった。

(杉山委員)

(3) 来年度学校運営の基本方針について

議長の指示により、吉田校長から、別紙資料に基づき来年度学校運営の基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・外国人初期適応教室は仮設校舎のときにスタートするのか。(杉山委員)

→まだわかりません。(吉田校長)

- ・改修工事は3年くらいかかるのか。(名波委員)

→2年くらいと言われているが、3年くらいかかるかもしれない。(吉田校長)

(4) 学校運営協議会の自己評価

議長の指示により、山田主幹教諭から、学校運営協議会各委員からの自己評価のアンケートをまとめた資料について説明があり、それらの意見をまとめるかたちで開成中学校運営協議会の総意として以下のような自己評価を行った。

＜評価項目1＞学校運営の基本方針について熟議することができたか。

→今年度の重点のうち、地域との連携について「職場体験」「ボランティア」については熟議して生徒の活動に結びつけた。

＜評価項目2＞承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

→学校が課題だと考えている点に加え、委員が課題だと考えている点について意見を出し合い、教育活動の充実のための優先順位について認識の擦り合わせができたと考えている。

＜評価項目3＞協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

→十分な情報発信をできた委員もいるが、できなかった委員もいる。

＜評価項目4＞今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

→今年度は学校を理解し一歩ずつ進めることが目標だったが、来年度は理解した学校像に則した学校や地域の連携を探れると良いと考えている。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

13 その他連絡事項等

司会から、次年度第1回学校運営協議会は、令和7年4月17日(木)午後2時30分から開催する旨の連絡があった。